



## 本年度の新規採用職員を紹介します



都市計画課の小泉湧です。主に営繕に関する業務を担当しています。まだ社会人になったばかりで分からないことが多いのですが、先輩方の指導のもと、業務内容をしっかり覚え、来庁された方の要望をよく聞き丁寧に対応していきたいと思っています。よろしくお願いします。



土木建設課の宇留野隼人です。生まれも育ちも常陸大宮市で、よりよいまちづくりに少しでも貢献できればと思い、市役所職員を志しました。担当業務は、主に土木工事の監督業務などを行っています。一職員として、市民の皆様のために日々の業務に誠心誠意取り組んでいきたいと思っています。これからよろしくお願いします。

### 子育て応援サイト「ハッピー子育て」

「ハッピー子育て」には、市の行政サービス情報や子どもの緊急時の連絡先、子育て関連施設・窓口など、子育てに必要な情報がいっぱい！WEBサイトは「常陸大宮市ハッピー子育て」で検索、または市ホームページのバナーから、アプリはQRコードをダウンロードしてください。



## 地域おこし協力隊がゆく

こんにちは、徳永です。今年の長梅雨で私の畑も影響を受けてしまいましたが、4月から始まった藍の栽培はようやく収穫を迎えることができました。

さて、今年は全ての作物を苗からではなく、タネから育てています。タネにはF1種や固定種、在来種等ありますが、比較しながら栽培すると面白いです。固定種と在来種は形質の同じ親同士を交配し続けることで、その形質を子や孫へ受け継ぐことのできる品種で、F1種は交雑種のことをいい、異なる形質を持つ親を交配することのできる品種です。多くのF1種は種苗法により自家採種が禁止されていますが、固定種のタネは自家採種が可能です。

現在スーパーに並んでいる野菜の多くはF1種だと言われています。品種改良により、収穫量も高く耐病性に強く食味も良いF1種は国民の食生活を守る上で必要不可欠な存在だと言えます。しかし、野菜のタネの約9割は輸入品で、自然災害等によりタネが安定的に供給されない可能性もあります。

そのため、私は固定種のタネで作物を育て、自家採種する人が1人でも多く増えて欲しいと思います。自家採種することで環境に適応したタネを紡ぐことができます。また、固定種にはスーパーなどで売られていないような珍しい種類の品種も多くあり、今までとは違った料理を楽しむこともできます。苗から始めるのも、タネから始めるのも面白いですが、自家採種を続ける家庭菜園に挑戦してみるのはいかがでしょうか。



▲収穫し、乾燥させた藍の葉